

令和7年度 営農情報（野菜）第5号（11月）

令和7年11月7日

JAあきがわ営農支援センター

1. 生育・病害虫

ネギ	ネギアザミウマの寄生・被害は減ってきています。
キャベツなど アブラ科野菜	収穫が遅れていましたが、出荷は始まっています。ブロッコリーで、ヨトウムシや黒すす病が一部のほ場でみられました。

2. 注意事項など

チュウゴクアミガサハゴロモ

中国を原産とするカメムシ目の昆虫で、全国的に確認例が増加しています。東京都病害虫防除所は令和6年1月に特殊報、令和7年9月4日には発生の注意喚起を行っています。営農支援センターにはこれまでスイートコーン、オクラ、カンキツ、チャ、カナメモチ、ナツメでの相談が寄せられています。

【被害】産卵時に枝を傷つけるため、枝の枯死などが生じることがあります。また、発生が多いと排出物によって「すす病」が発生することがあります。

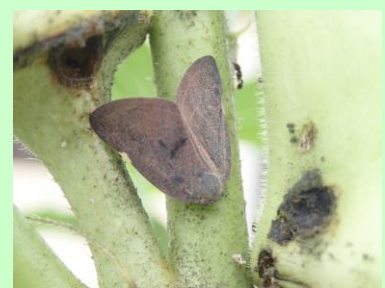
【防除対策】①令和7年10月現在、本種の登録農薬はありません。②産卵された枝を除去して、適切に処分します。



幼虫（茶）



枝の産卵痕（カナメチ）



成虫（オクラ）

3. 気象情報

関東甲信地方1か月予報（11/8～12/7）：気象庁11/6発表

平均気温は平年並または高い確率40%。平年に比べ晴れの日が多い。

→気温は平年並または高くなる予想。